

横須賀市廃棄物減量等推進審議会（第68回）議事概要

- 1 日 時 令和2年(2020年)1月28日(火) 午後1時30分から2時30分まで
- 2 場 所 横須賀市役所 消防局庁舎4階 災害対策本部室
- 3 出席委員 青委員、安部委員、上田委員、織田委員、北村委員、佐藤(明)委員、佐藤(幸)委員、鈴木委員、関矢委員、藤田委員、米村委員、渡辺委員
- 4 事務局 資源循環部 山口(里)部長
資源循環総務課 高野課長、宍戸課長補佐、菱沼係長、大野田主任、大野資源循環推進課 関澤課長、
廃棄物対策課 坂下課長、竹見係長、杉山係長
資源循環施設課 高橋課長
広域処理施設建設室 上阪室長
リサイクルプラザ 大石館長
資源循環久里浜事務所 山本所長

5 傍聴者 なし

6 議事内容

開会

市長が審議会出席者に挨拶をした。

事務局が定足数である半数以上の委員の出席を確認し、会議の成立を報告した。

議事

(1) 諮問「横須賀市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定について」

○佐藤(幸)委員長 それでは議事に入ります。先ず議題の(1)横須賀市一般廃棄物処理基本計画の策定について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 横須賀市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について、市長から諮問させていただきます。恐れ入りますが、委員長、市長、委員長席の前までお進みいただきますようお願いいたします。

○市長 (諮問書を読み上げ、委員長に渡した)

○佐藤(幸)委員長　　只今、ごみ処理基本計画の策定について市長から諮問をお受けいたしました。当審議会といたしましては、諮問の趣旨をよく理解し、慎重に審議を進めてまいりたいと思います。

○事務局　　恐れ入りますが、市長はこの後別の公務がございますので、ここで当審議会を中座させていただきます。よろしくお願いいたします。

（２）一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の概要及び策定スケジュールについて

○佐藤(幸)委員長　　それでは議事を進めたいと思います。議題の（２）一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の概要及び策定スケジュールについて、事務局の方から説明をお願いいたします。

○事務局　　（資料１・２に基づき説明）

○佐藤(幸)委員長　　はい、ありがとうございました。只今の一般廃棄物処理基本計画の概要及びスケジュールの説明について、質問やご意見のある方はいらっしゃいますか。新しい計画ですので、スケジュール的に密度の濃い議論が要求されていると思いますが、次回からじっくり検討を進めていきたいと思います。スケジュールについて確認ですが、パブリックコメントは令和３年８月の第７回開催とほぼ同じような時期になるということよろしいですか。

○事務局　　そのような形で進めさせていただきたいと存じております。

○佐藤(幸)委員長　　分かりました。では、また全体のところで時間をとっておりますので、次の議事に進みたいと思います。

（３）廃棄物減量等推進審議会（第 67 回）の意見等への対応について

○佐藤(幸)委員長　　議題の（３）廃棄物減量等推進審議会（第 67 回）の意見等への対応について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局　　（資料 3、参考資料 1・2 に基づき説明）

○廃棄物対策課長　　（資料 3 に基づき説明）

○佐藤(幸)委員長　　ありがとうございました。只今の説明について、ご質問やご意見がある方はいらっしゃいますか。（織田委員が挙手しているのを見て）はい、どうぞ。

○織田委員　　今の商工会議所の件について、名簿がもらえないというのは当然だと思うのですが、会報誌がありますので、こちらから提供した資料をその会報誌の中に挿入するという形でPRするというのはいかがでしょうか。

○廃棄物対策課長　　その点について商工会議所の方に確認をしたのですが、実費が必要というようにお話もありましたので、そのあたりは調整して考えていきたいと思います。ありがとうございます。

○佐藤(幸)委員長　　はい、ありがとうございます。他にありますか。（上田委員が挙手しているのを見て）はい、どうぞ。

○上田委員　　横須賀市と三浦市でゴミ処理の広域化に向けた計画が進み、ゴミ処理施設等については今後共同で利用することになると思います。現行の計画には三浦市の人口推移や廃棄物処理実績等の数字は掲載されていないようですが、新しい計画ではどのような形で表されていくのか教えていただきたいと思います。

○事務局　　廃棄物処理につきましては、横須賀市と三浦市で同じような方を強調していきたいところではございますが、一般廃棄物処理基本計画の中では、横須賀市の廃棄物処理の計画のみを謳う形になります。一般廃棄物処理基本計画というのは、横須賀市と三浦市それぞれの廃棄物処理について策定する計画であり、両市の広域処理については、別に広域化計画というものを策定しております。恐れ入りますが、今回お配りした資料の1番の2ページの関係図をご覧ください。今回策定する計画は、図の真ん中の列の下から2つ目にあります「一般廃棄物（ゴミ）処理基本計画」という法定計画です。この計画の策定にあたり、広域処理を行う燃せるゴミ、不燃ゴミ、粗大ゴミに関しましては、三浦市と同じ施設を利用して処理を行いますので、お互いに整合を計りながら進めていきたいと思います。

○上田委員　　横須賀市と三浦市が同じ施設を利用してゴミ処理を行うので、三浦市のゴミの排出量等の情報を開示していただいた方が、計画の策定や運用を行いやすいと思うのですが、いかがでしょうか。

○事務局　　承知しました。ゴミ処理実績につきましては、三浦市の分についても併せてお示ししながら検討を進めさせていただきたいと思います。

○佐藤(幸)委員長 実績については、新たな計画が出来た後に、毎年進行管理という形で実績を確認させていただくことになると思います。その際に横須賀市の実績と合わせて、三浦市のごみの排出量や処理方法について確認していただくこととなりますので、よろしく申し上げます。他にはいかがでしょうか。それではまたご意見がありましたら、後程全体のところで伺いたいと思います。

（４）その他全般

○佐藤(幸)委員長 それでは（４）その他全般について、昨年台風 15 号・19 号の災害時に他県の市町村に支援に行かれたということですが、どのような支援を行ったのか、支援内容について事務局のほうからご説明していただけますか。

○資源循環総務課長 ご説明させていただきます。昨年の台風 15 号が物凄い強風をもたらし、房総半島の南側の市町は、大きな被害を受けました。これを受け、市長から東京湾を隔てたとはいえ、お隣の市町が困っているので、資源循環部として何かご支援できないかということをご宿題とされました。そこで、久里浜から金谷まで出ている東京湾フェリーを使用して災害廃棄物を収集・運搬し、久里浜にある南処理工場で焼却することが出来れば、被災地のお役に立てるのではないかと考え、南房総地域一帯の市町村にお声掛けをさせていただいたところ、ぜひお願いしたいとのご依頼を受けました。支援の実施に当たり色々とお話を伺う中で、布団の処理について、布団は大きく裁断しなければ焼却することが出来ず、処理に手間がかかってしまうというお話を伺いました。横須賀市の南処理工場では、布団を裁断せずに焼却することが出来るため、布団を中心とした燃せるごみを収集し、フェリーで久里浜まで運搬した後、南処理工場で焼却するという支援を約 1 か月間行いました。ごみ収集車はのべ 86 台、職員はのべ 173 人が対応し、久里浜事務所の職員に積極的に支援に行ってくださいました。また被災地の一つである鋸南町には、資源循環総務課の職員を 1 週間事務支援という形で派遣し、災害廃棄物の仮置き場の管理や契約事務等を行いました。今回の支援を通して得た経験や知識は、一般廃棄物処理基本計画や災害廃棄物処理計画の策定に反映させていただきたいと思います。報告は以上です。

引き続きまして、事務連絡をさせていただきます。本日の議事概要につきましては、ご出席いただいた委員全員に内容をご確認いただいた後、公開とさせていただきます。議事概要案は完成次第各委員に送付いたしますので、発言内容等のご確認をお願いいたします。また、次回の審議会開催は 7 月頃を予定しております。ご出席の方、よろしく申し上げます。本日はこの後、横須賀ごみ処理施設「エコミル」の見学会を行いたいと思います。これから一般廃棄物基本計画を策定していただくに当たり、新しいごみ処理施設をご覧いただいた上で、様々な施策を計画に反映していただきたいと思います。とても大事な視察だと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○佐藤(幸)委員長　　ありがとうございました。今ご説明があった内容も含めて、エコミルという新しい施設でどのような可能性があるのかという観点からも、施設をよく見ながら疑問点についてはその都度質問し、色々と活発なご意見を出していただきたいと思います。本日の審議会はこれにて閉会いたします。お疲れさまでした。